

令和 6 年度

仙台大学アカデミックパートナーシップ協定に基づく授業等の実施状況について

アカデミックパートナーシップ協定を踏まえて実施する授業	キャリアプランニングⅡ スポーツ情報戦略概論 体育原理 スポーツターフ管理概論Ⅰ スポーツマネジメント実習Ⅱ 仙台大学の専門教養演習Ⅰ・Ⅱ
実施時期	平成 28 年度～
連携している組織名称	株式会社楽天野球団 株式会社ベガルタ仙台 株式会社仙台 89ERS
当該授業を実施する学科	体育学部体育学科 同 健康福祉学科 同 スポーツ栄養学科 同 スポーツ情報マスメディア学科 同 現代武道学科 同 子ども運動教育学科
アカデミックパートナーシップ協定を実施する目的	各在仙プロスポーツ球団と本学の両者が保有する各々の有形無形資産の相互活用により、人材育成を通じて相互に地域創生・地域貢献を図っていくことを目的として実施する。
当該授業の履修者数	キャリアプランニングⅡ 110 名 株式会社楽天野球団 (37 名) 株式会社ベガルタ仙台 (30 名) 株式会社仙台 89ERS (43 名)

	スポーツ情報戦略論 31 名 株式会社楽天野球団 (31 名) 体育原理 701 名 株式会社楽天野球団 (701 名) スポーツターフ管理概論Ⅰ 19 名 株式会社楽天野球団 (19 名) スポーツマネジメント実習Ⅱ 15 名 株式会社ベガルタ仙台 (10 名) 株式会社仙台 89ERS (5 名) 仙台大学の専門教養演習Ⅰ・Ⅱ 46 名 株式会社仙台 89ERS (46 名)
当該授業等を開講する目的	①関心のある職業について、より深い知識を持ち、職業選択に当たり、自分なりの動機づけを高め、社会人らしい考え方、行動を身につけること。 ②キャリアプランの意識化による人間教育の展開を図ること。
当該授業等の具体的な内容	各在仙プロスポーツ球団とのアカデミックパートナーシップ協定をベースに「する・みる・ささえる」というスポーツの基本要素に関して、教育課程への取組みとして「キャリアプランニングⅡ」という全学科 2 学年対象の教養展開科目必修科目におけるインターンシップ実習（職場体験学習）及び「スポーツマネジメント実習Ⅱ」（体育学科スポーツマネジメントコース 3 年生対象の発展科目のコース必修科目）を利用して、学生の実践体験の場を設定するとともに、スポーツコーチング・スポーツマネジメント・ストレングス&コンディショニング・アスレティックトレ

ーニング・スポーツ情報分析・スポーツ栄養等の各機能に関する各種実践を行っている。また、「体育原理」（全学科１年生対象の専門基礎科目の必修科目）及び「スポーツ情報戦略論」（体育学科コーチングコース３年生対象の発展科目コース選択必修科目）においては、プロ球団から講師を招き、コーチングやトレーニング、イベント運営の講義など多彩なプログラムを設定し、実践的な PBL を実施している。

仙台大学の専門教養演習Ⅰ・Ⅱ（バスケットボール）では、仙台 89ers の試合観戦のみではなく、試合前の会場全体から試合終了後まで。さらに、試合以外のイベント等興行全体に目を向けさせ、その経験をまとめて発表させるなどのプログラムを実施している。